

2016年・沖縄写真 まぶいぐみ連続写真展

vol.8 国吉和夫 & 石川琢也



国吉和夫

2016.11.19(土) - 11.27(日) ※21(月)休み

11:00 - 18:00 ■27(日)14:00～ ギャラリートーク&ディスカッション



石川琢也



1970年6月に琉球新報社編集局写真部に入社した。その年の12月19日に「コザ暴動」が起こり、米軍人、軍属の車両80台余りが焼かれた。「コザ暴動」を撮影したきっかけが、その後の方向性を決めたと思っている。
1971年4月、米軍知花弾薬庫に貯蔵されていた「毒ガス」が、南太平洋のジョンストン島に移送されることになった。春休みと夏休みの学校の授業がない日を選んだわけだ。米軍はこの移送を「レッドハット」作戦とよんだ。当時、沖縄市に住んでいた関係で、ほぼ毎日「毒ガス移送」取材することができた。入社1年にも満たない私にとって、すごくいい経験というか、またとない取材だった。
「コザ暴動」「毒ガス移送」後に続く「復帰」。混沌とした時代に鍛えられたように思う。(国吉和夫)



写真はときに、日常のなかではほとんど意識していない、外界の別の見え方を知覚させてくれることがあります。そのような写真が撮れることを願い、カメラを携え街を徘徊しています。

写真にすることで初めて観られる空間、写り込んだモノとモノとの新たな結びつき、身近で平凡なはずのモノの表面への止まない注視。それらが社会の安定した認識の領域の外を垣間見させてくれること、そのことを考えていきたいと思います。(石川琢也)

<次回予告>

コザ暴動プロジェクト in 大阪「都市と暴動」

会期: 2016.12.16 - 12.18 (10:00 - 18:00) 入場無料

会場: 大阪市立大学都市研究プラザ 船場プラザ (豊野ひらのまちギャラリー)

出展: 大城弘明、国吉和夫、平良孝七、比嘉豊光、比嘉康雄、松村久美、山城博明、吉岡攻

一関連イベント

17日(土) 14:00- フィールドワーク「西成(釜ヶ崎)暴動を歩く」

18日(日) 13:30- シンポジウム

1部「都市と暴動-都市はいかに暴動を生み出したか」

2部「コザ暴動」ギャラリートーク

gallery ラフアイエット

〒904-0004 沖縄県沖縄市中央 4-1-3 2F tel:070-5691-9008

<http://rougheryet.blogspot.com/>

*駐車場はコリンザ近くの市民駐車場をご利用下さい。

